

どの講座を受講する場合もレベル認定等の試験は不要です。

| 講座名 | 講師名 | 難易度 | 講座数 |
|----------------------------|-----|-------|-----|
| 早慶・都立大・国公立最難関対策 数学ⅠAⅡBⅢ | 赤嶺 | 発展 | 2講座 |
| ハイレベル文系・薬学数学ⅠAⅡB | 高橋 | 応用ー発展 | 2講座 |
| 共通テスト&私大対策数学ⅠA 【特進クラス】 | 水島 | 応用 | 1講座 |
| 共通テスト&私大対策数学ⅠA 【スタンダード】 | 高橋 | 基礎ー標準 | 2講座 |
| ハイレベル数学ⅡB【特進】 | 赤嶺 | 標準ー発展 | 2講座 |
| スタンダード数学ⅡB | 島本 | 標準ー応用 | 2講座 |
| 理系ハイレベル数学Ⅲ | 島本 | 応用ー発展 | 2講座 |
| 理系スタンダード数学Ⅲ | 島本 | 基礎ー発展 | 2講座 |

早慶・都立大・国公立最難関対策 数学ⅠAⅡBⅢ

講座難易度

発展



この講座は、数Ⅰから数Ⅲまでのある程度の知識を持っていることが前提(標準レベルの学力をもってることが対象)で授業をしていきます。ただ、一方通行な授業ではなく、演習等で躓いてたりしたらその分野の問題を中心に指導しますので、要は生徒とのコミュニケーションを大事にしながら演習授業形式で授業をしていきます。

前期

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 |
|---|---|---|---|
| オリエンテーションと実力確認テストを実施します。 | 入試問題研究 入試で頻出される微積分、確率、数列、ベクトル等の過去問の中心の演習形式 | 入試問題研究 入試で頻出される微積分、確率、数列、ベクトル等の過去問の中心の演習形式 | 入試問題研究 入試で頻出される微積分、確率、数列、ベクトル等の過去問の中心の演習形式 |
| 【特記事項】 授業内でできなかった問題は、宿題として出し、翌週に解説という形式で行います。問題のチョイスは、生徒さんの演習の出来でハイレベルや標準問題を出题していきます。基本は、ランダム形式で出题していきます。 | | | |

後期

| 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|---|---|---|---|
| 入試問題研究 入試で頻出される微積分、確率、数列、ベクトル等の過去問の中心の演習形式 | 入試問題研究 入試で頻出される微積分、確率、数列、ベクトル等の過去問の中心の演習形式 | 入試問題研究 入試で頻出される微積分、確率、数列、ベクトル等の過去問の中心の演習形式 | 入試問題研究 入試で頻出される微積分、確率、数列、ベクトル等の過去問の中心の演習形式 |

ハイレベル文系・薬学数学ⅠAⅡB

講座難易度

応用—発展



● 授業方針

早慶私大文系・薬学入試で頻出事項を扱いながら、解法に至るまでのプロセスを講義します。ハイレベルな問題を丁寧に考察しながら、数学の応用力を高めます。

● 復習の量について

復習中心の講座で、毎回、指定教材の範囲を明示し、課題を提示。復習量は2時間程度です。
※「考え方ノート」とタイトルを付けたノートを1冊用意して、授業時に持参してください。

前期

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 |
|---|---|--|--|
| ○ 微分法・積分法【絶対値入り問題】 場合分けがなぜ必要なのかを考えながら、微分・積分を学習する。パワフルな計算力も必要となる問題にも果敢に挑戦します。 | ○ 数列【Σ計算・漸化式】 文系・薬学に頻出な周期数列や漸化式の解法を整理していく。 | ○ 図形と方程【軌跡と領域・通過領域】 学校ではあまり扱われない通過領域問題に触れながら、軌跡分野を学習する。 | ○ ハイレベルテスト演習① 【自分のできる分野・弱分野の総点検】 実際に出題された過去問を素材にしながら演習形式で問題解決力を磨く。 |
| 【特記事項】 公式や計算力不足が見受けられる場合には、個別演習課題を課し、演習して頂きます。 | | | |

後期

| 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|-----------------------|------------------------|---------------------------------|------------------------------|
| 私大対策①入試演習問題 記述問題演習 | 私大対策②入試演習問題 マーク問題演習 | 実戦テスト形式演習 分野ごとに演習 応用問題へ挑戦 | 最終確認 数学ⅠAⅡB全範囲 入試過去問演習 |

共通テスト&私大対策数学ⅠA

【特進クラス】

講座難易度

応用



新テストである共通テストは、今までのセンター試験の出題傾向に加え、より深い思考力を問う問題が出る。そのためにあなたに必要な事は、問題の文章を正しく解読する能力を身につけ、根拠のある式を立てる練習を繰り返すことである。本講座では、センター試験・私大・国立大の入試過去問を使い、①問題文の読解力、②根拠のある立式、③正確な計算力を身に付けてもらい、揺るがない得点力を磨いていただく。

前期

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 |
|---|--|---|------------------------------|
| ○ 共通テスト対策 数学Ⅰ範囲 数と式 テーマ学習 2次関数 図形と計量 <small>※ センター試験タイプでの問題研究</small> | ○ 共通テスト対策 数学ⅠA範囲 データの分析 テーマ学習 場合の数と確率 図形の性質 <small>※ センター試験タイプでの問題研究</small> | ○ 思考力の養成+記述力の養成 数学ⅠA範囲 整数の性質 テーマ学習 集合と論理 <small>※ 国立・私立・センター過去問等から抜粋</small> | ○ 入試演習 入試頻出問題対策 記述力の養成 |

【特記事項】 夏期講習では、共通テスト対策として新テスト形式の問題研究を行う。

後期

| 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|--|---|---|------------------------------------|
| ○ 共通テスト対策（テスト形式） 共通テスト形式演習による 得点力の養成 | ○ 記述問題対策（演習形式） 私大の入試過去問・国立大2 次の入試過去問の記述演習 | ○ 記述問題対策（演習形式） 私大の入試過去問・国立大2 次の入試過去問の記述演習 | ○ 共通テスト対策（演習形式） 弱点の克服 得点力を磨く |

共通テスト&私大対策数学ⅠA

【スタンダード】

講座難易度

基礎—標準



● 授業方針

この講座では、共通テスト並びに医療系～中堅私大の私大対策を中心に講義します。共通テスト問題に早期から慣れるため、6月以降からテスト演習を行います。

● 復習の量について

復習中心の講座で、毎回、指定教材の範囲を明示し、課題を提示。復習量は1時間程度です。授業内で、学習した内容が定着度を確認するため、分野別テストを定期的実施していきます。

※演習ノートと「考え方ノート」とタイトルをつけたノートを1冊ずつ準備してください。

前期

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 |
|---|--|--|--|
| ○ 中学校の文章題問題 食塩水・割引・時速などの 計算ができるかを確認する ○ 2次関数 【標準問題の総点検】 | ○ 図形と計量 ○ 三角比の考え方 公式の定着度を図りながら、 図形問題に取り組む ○ データの分析 | ○ 場合の数・確率の思考ステップ 思考を整理して、いつ・どのよ うな時に式を使うのかを講義+演習 | ○ 整数問題 ○ ユークリッドの互除法 n進法などを中心に扱い、式の意 味を考える力を養成 |

【特記事項】 毎回の授業開始時に復習確認テストを実施し、点数が目標値に到達していない場合には、別途、個別課題を与える。

後期

| 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|---|---|-------------------------------------|---|
| ○ 私大対策① 入試演習問題 ○ 共通テスト対策 マーク形式問題演習 | ○ 私大対策② 入試演習問題 ○ 共通テスト対策 マーク形式問題演習 | ○ 実戦テスト形式演習 分野ごとに演習 ○ 応用問題へ挑戦 | ○ 最終確認 数学ⅠA全範囲 ○ タイムアタック演習3回実施 +分野強化問題 |

【特記事項】 毎回の授業開始時に復習確認テストを実施し、点数が目標値に到達していない場合には、別途、個別課題を与える。

ハイレベル数学ⅡB【特進】

講座難易度

標準—発展



この講座は、数ⅡBのある程度の知識を持っていることが前提(標準レベルの学力をもっていることが対象)で授業をしていきます。ただ、一方通行な授業ではなく、演習等で躓いてたりしたらその分野の問題を中心に指導しますので、要は生徒とのコミュニケーションを大事にしながら演習授業形式で授業をしていきます。

前期

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 |
|--------------------------------------|--|--|--|
| オリエンテーションと実力テスト | 入試問題研究 入試で頻出される微積分、数列、ベクトル等の過去問の中心の演習形式 | 入試問題研究 入試で頻出される微積分、数列、ベクトル等の過去問の中心の演習形式 | 入試問題研究 入試で頻出される微積分、数列、ベクトル等の過去問の中心の演習形式 |
| 【特記事項】ⅡBを中心に指導をしますが、IAとの融合問題の出題もします。 | | | |

後期

| 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|--|--|--|--|
| 入試問題研究 入試で頻出される微積分、数列、ベクトル等の過去問の中心の演習形式 | 入試問題研究 入試で頻出される微積分、数列、ベクトル等の過去問の中心の演習形式 | 入試問題研究 入試で頻出される微積分、数列、ベクトル等の過去問の中心の演習形式 | 入試問題研究 入試で頻出される微積分、数列、ベクトル等の過去問の中心の演習形式 |

スタンダード数学ⅡB

講座難易度

標準—応用



数学ⅡB全範囲について、基本事項を確認しながら重要解法を学習していく。入試標準レベルの頻出問題を中心に扱い、出題の本質と意図を読み取り、思考力と論理展開能力を養成する。同時に、減点されない記述答案作成法を伝授する。とりあえず計算してみても何となく解答を進めるというその場限りのアプローチ/プロセスから脱却し、習得した重要解法と記述法により、自信をもって解答できる能力を身につけてもらう。

前期

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 |
|---------------|-------------------------|------------------------------|--------------------------------------|
| 《单元名》 ○ 数列 | 《单元名》 ○ 数列 ○ 三角関数 | 《单元名》 ○ 指数・対数 ○ いろいろな式 | 《单元名》 ○ 微分・積分 ※ ベクトルは夏期講習で集中特講 |

後期

| 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|-------------------|------------------|----------|-----------|
| 《单元名》 ○ 図形と方程式 | 《单元名》 ○ 確率・統計 | ○ 総合問題演習 | ○ 共通テスト対策 |

理系ハイレベル数学Ⅲ

講座難易度

応用—発展



数学Ⅲ全範囲について、教科書レベルの内容は理解できていることを前提に、入試頻出問題を含む応用～発展問題を扱っていく。そこで必要とされる重要解法はもちろん、上位大入試の発展問題に有効な技巧的解法も学習し、同時に、記述答案作成法を伝授する。理系難関大を目指す人の数学Ⅲ対策は、本講座で万全。

前期

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 |
|-----------------------|---------------|----------------|----------------|
| 《单元名》 ○ 関数 ○ 極限 | 《单元名》 ○ 極限 | 《单元名》 ○ 微分法 | 《单元名》 ○ 微分法 |

【特記事項】 二次曲線はGW特訓及び秋の特訓で、複素数平面は夏期講習で集中特講

後期

| 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------------|----------------|-----------|-----------|
| 《单元名》 ○ 積分法 | 《单元名》 ○ 積分法 | ○ 全範囲総合演習 | ○ 全範囲総合演習 |

理系スタンダード数学Ⅲ

講座難易度

基礎—発展



数学Ⅲ全範囲について、教科書レベルの基礎から始め、標準～応用レベルへと駆け上がる。基本事項の確実な習得と計算力の養成とともに、入試頻出問題の解答に不可欠な論理展開能力と重要解法を習得してもらう。同時に、減点されない記述答案作成法を伝授する。入試の数学Ⅲで必要なエッセンスは本講座ですべて学習していくので、参考書の類いは一切不要である。

前期

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 |
|-----------------------|---------------|----------------|----------------|
| 《单元名》 ○ 関数 ○ 極限 | 《单元名》 ○ 極限 | 《单元名》 ○ 微分法 | 《单元名》 ○ 微分法 |

【特記事項】 二次曲線はGW特訓及び秋の特訓で、複素数平面は夏期講習で集中特講

後期

| 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------------------------|----------------------------|----------------------------|-----------|
| 《单元名》 ○ 積分法 ○ 極限&微分法 | 《单元名》 ○ 積分法 ○ 極限&微分法 | 《单元名》 ○ 積分法 ○ 極限&微分法 | ○ 全範囲総合演習 |